



# ほけんだより 8月号



2024年8月1日  
ひいらぎこども園  
園長 中田 純子

猛暑が続いています。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気を配りましょう。また、夏休みに遠出される方も多いと思います。体調やけがに気を付けながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう。

## 夏の感染症・・・

夏に流行る感染症には、アデノウイルス・ヘルパンギーナ・溶連菌など、のどや目の感染症が多いです。今年は手足口病がまだまだ流行っています。

### 欠席状況

	4月	5月	6月	7月
手足口病	14	17	30	22
RSウイルス	8	6	1	
アデノウイルス	3	3	8	
ヘルパンギーナ	5	3	1	1
溶連菌	1	1	3	1
流行性嘔吐下痢症			2	
細菌性腸炎				2
コロナウイルス	2	1		1
インフルエンザ			1	
突発性発疹	1		1	2

7/29までの集計です

7月に入ってから、夏風邪の一種と言われている嘔吐や下痢が流行っています。診断名は「風邪」ということで、左記の表には入っていませんが、およそ50~60人ぐらいの感染者がいました。職員間でも嘔吐の処理方法を再確認し、感染を広めないよう注意しています。

「家族全員が感染して大変でした」という声をたくさん聞きましたので、嘔吐時の処理やお洗濯の方法等、玄関ホールに掲示しています。参考にしてください。

下痢・嘔吐の症状がなくなってから24時間経過後、いつものように食欲が回復していることを確認してからの登園をお願いします。

まだまだ暑い日が続きます。免疫力を低下させないように、今一度、生活リズムの見直しをお願いします。

## 肌トラブル・・・

夏は様々な肌トラブルが増えます。(あせも、オムツかぶれ、乳児湿疹、アトピー性皮膚炎、とびひ、水いぼなど) 子どもの肌は敏感で、小さなトラブルでも急激に悪化することがあるので注意しましょう。

### あせもはうつる？

あせもはうつりませんが、とびひになるとうつります。あせもをかきむしったところに細菌が感染すると、とびひになります。抗菌薬での治療が必要な場合もあるので、ひどくなる前に早めに受診しましょう。

傷が乾くまで、沐浴、水遊び、プールに入るのは控えてください。場合によっては病院受診を勧める場合もあります。

### 応急処置は？

朝、起きてからシャワーで汗を洗い流すことをおすすめします。タオルでしっかり水けを拭き取りましょう。

また、おむつや下着、寝具は通気性・吸湿性に優

れた素材がおすすめです。

おむつの場合は、排泄後すぐに取り換えましょう。おむつかぶれに繋がります。

あせもがひどくなったり、痒みや痛みが続く場合は、早めに皮膚科を受診しましょう。

とびひや水いぼ、傷がジュクジュクしている場合は、水遊びやプール遊びができません。かかりつけの病院で水遊び届を記入してもらい、提出してください。

